

挑戦、成長の3年

支援ありがとう

三戸 青森県立三戸高（直町年校長）の全国募集1期生となり、今月卒業した千葉徳恵さん（18）と高村有輝さん（18）が3日、三戸町役場を訪れ、沼沢修二町長らに3年間の支援に感謝の言葉を伝えた。三戸で大きく成長した2人は4月から、川崎市と愛知県一宮市の大学に進学してそれぞれの道を進み出す。

（熊谷勝之）

町長に感謝伝える



卒業を報告する三戸高全国募集1期生の千葉徳恵さん（右）と高村有輝さん

千葉さんは千葉県流山市から、高村さんは名古屋市から三戸高へ、留学。学校内外でさまざまな活動に取り組み、千葉さんはスクールカウンセラー、高村さんは看護師になる夢を育て進路を決めた。

千葉さんは「最初は不安と悩みが大きかったが、クリエイティブでさまざまな挑戦ができて自信がついた。全国高総文祭で最優秀賞を獲得できたのが一番の思い出」と振り返った。

高村さんは「三戸では近所の人たちが何かにつけて声を掛けてくれた。入学前は人見知りだったが、温かい大人たちと関わられたおかげで少しは成長できたと思う」と笑顔で話した。

沼沢町長は2人に対し、「三戸町と三戸高に新しい風を持ち込んでくれた。これからは三戸を第二の故郷にして、何かあったら帰ってきてほしい」とエールを送った。